『手の構造 ― Structures of the Hand』 正誤表

このたびは『手の構造 ― Structures of the Hand』をご購入いただきまして誠にありがとうございます。
第1刷（2024年4月1日発行）におきまして以下の誤りがございました。ここに訂正させていただきますとともに深くお詫び申し上げます。

2024年7月24日作成　2025年8月18日更新

刷数	訂正箇所	誤	正	掲載
1	27頁 「手掌：皮線と深部構造との関係」の項、上から2行目	母指のA1（第1輪状）プーリーは母指球皮線（thenar crease）の直下から近位部，Av（可変輪状）およびC（十字）プーリーは手掌指節皮線（palmophalangeal crease）と指節間皮線（interphalangeal crease）の間に存在する．	母指のA1（第1輪状）プーリーは手掌指節皮線（palmophalangeal crease）の直下から近位部，Av（可変輪状）およびC（十字）プーリーは手掌指節皮線と指節間皮線（interphalangeal crease）の間に存在する．	2024/7/24
1	100頁　下から7行目 右「誤り欄」の赤字の部分を削除	この手首の複合関節のなかで，近位主根列は顆状関節（condyloid joint）である橈骨手根関節と鞍関節（saddle joint）である手根中央関節の間で，回転したり，並進したり，捻じれたりしてその形状を変化させることにより手関節の安定性を保ちながら大きな可動性を生むことを可能としている．	この手首の複合関節のなかで，回転したり，並進したり，捻じれたりしてその形状を変化させることにより手関節の安定性を保ちながら大きな可動性を生むことを可能としている．	2025/8/18
1	195頁　下から7行目 右「誤り欄」の赤字の部分を削除し、修正した青字の文を追加	上腕骨と尺骨は，上腕骨の内上顆（medial epicondyle）と尺骨の鈎状突起（coronoid process）の内側部にはじまる回外筋稜（supinator crest）を連結する尺側側副靱帯（ulnar collateral ligament）と，輪状靱帯に交わって上腕骨の外上顆（lateral epicondyle）と尺骨を連結する橈側側副靱帯（radial collateral ligament）によって安定化される．	上腕骨と尺骨は，上腕骨の内上顆（medial epicondyle）と尺骨の鈎状突起（coronoid process）の内側部を連結する尺側側副靱帯（ulnar collateral ligament）と，輪状靱帯に交わって上腕骨の外上顆（lateral epicondyle）と尺骨の橈骨切痕の前方にあたる鈎状突起の外側縁および橈骨切痕の後方にあたる回外筋稜（supinator crest）を連結する橈側側副靱帯（radial collateral ligament）によって安定化される．	2025/8/18

医学書院